



組合消防マスコットマーク
“りゅうじんくん”

広域消防

第

121

号

2024.4

構成市町

大洲市
内子町

おおず



文化財を火災から守るために大洲市消防団菅田分団と大洲消防署本署は、大洲市菅田町大竹にある大洲市指定文化財の「少彦名神社参籠殿」で、1月28日（日）に火災防ぎょ訓練を行いました。

この訓練で文化財を守る意識を高めるとともに、消防団と消防署の連携が強化され、火災防ぎょ技術の向上を図ることができました。

大洲地区広域消防事務組合
ホームページから、申請・
届出の様式をダウンロード
できます。

<http://ozu119.jp/>

シリーズ わが町の消防団！ No. 63

消防団員として

大洲市消防団正山分団 分団長 安川 知 則

正山地区は肱川町の入口に位置し、自然豊かな環境に227世帯が暮らす小さな集落です。正山分団は、42人で活動しています。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大により思う様な活動ができず、もどかしい思いでしたが、活動規制も無くなり様々な活動を行うことが可能となりました。

その中で昨年11月に大洲市戒川地区で発生した大規模林野火災は、消防車両の進入に限界があり、更に、有効な水利がない山林での消火活動の難しさを改めて知ることになりました。正山地区も広大な山林を有しており、林野火災に備えるためポンプ数台を使用した中継送水での消火活動が重要です。そこで今後は、ポンプの適切な取扱いや中継送水の手順等を中心とした訓練を行う予定です。

写真は、正山分団詰所前で小型ポンプ操法の訓練をしている様子です。仕事をして疲れた後の夜間訓練にも関わらず、熱心に取り組む団員に感謝しています。最大震度7と予測されている南海トラフ巨大



地震による建物倒壊等、今後は経験の無い様々な災害が予測されます。

その中で消防団員として何ができるか、何が大事なのかを一人一人が考え、自ら行動できる消防団員になるため、日々努力したいと思います。

災害対策合同訓練

市立大洲病院と大洲消防署は、2月17日（土）に地震発生時の災害対策合同訓練を行いました。

大洲消防署は、救急搬送を主な訓練とし、病院への傷病者収容連絡をはじめ傷病者の情報提供について、地震発生直後の病院と救急隊の連携が円滑にできるかどうかを確認しました。訓練終了後、救急隊の情報伝達要領について、病院からフィードバックを受けました。



—この訓練を終えて—

消防本部警防課 課長補佐 亀岡 周一
 日常の救急搬送と災害時における救急搬送時の情報の伝達要領の違いを、この訓練で確認することができました。病院と合同で訓練をしたことで、病院と消防の連携が強化されました。災害が発生したときには、この訓練で得た経験が生かされるものと思います。今後も他機関との合同訓練を積極的に行い、連携強化に努めたいと思います。



消防出初式



大洲市



大洲市と内子町で消防出初式が盛大に開催されました。

大洲市は、3月3日(日)に五郎大橋上流河川敷グラウンドに、890人の消防団員が出動しました。

内子町は、2月18日(日)に内子総合運動公園に、567人の消防団員が出動しました。

両会場ともに、ピーンと張りつめた緊張感のある中で、矢野正祥大洲市消防団長、谷岡和彦内子町消防団長から元気あふれる訓示がありました。消防団員は、日頃から訓練をしているポンプ操法を見事に披露しました。また、永年にわたり消防に尽力された消防団員を、愛媛県知事、大洲市長、内子町長等が表彰しました。

内子町



火災

令和5年 火災 救急 概況

救急

大洲市 **13**件 内子町 **4**件

1日 **9.7**件 救急出動

令和5年の大洲市と内子町の火災件数は17件(前年比16件減)で、その内建物火災は9件(前年比5件減)でした。林野火災や田畑等の火災も前年比で5件減り、火災の少ない年でした。損害額は、約22,692万円(前年比約12,892万円増)でした。出火原因は、「火のついたゴミ」と「不明」が最も多く各3件でした。

住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、防火意識の高揚を更に図り、火災を起こさないようにしましょう。

令和5年の大洲市と内子町の救急出動件数は、3,526件(前年比79件増)で、搬送人員は、3,299人(前年比51人増)でした。

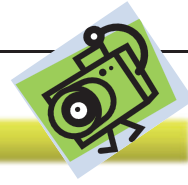
65歳以上の方の搬送割合は75.2%で、前年とほぼ同様でした。1日当たりの救急出動件数は、約9.7件でした。

一人でも多くの尊い命を救うために、限りのある救急車を適正に利用しましょう。

市町別		火災種別				合計
		建物	林野	車両	その他	
大洲市	大洲	6		2	3	11
	長浜		1			1
	肱川				1	1
	河辺					
内子町	内子					
	五十崎	1				1
	小田	2			1	3
合計		9	1	2	5	17

市町別		出動件数	搬送人員
大洲市	大洲	2,040	1,920
	長浜	396	358
	肱川	110	102
	河辺	48	48
内子町	内子	572	544
	五十崎	233	223
	小田	121	103
管轄外		6	1
合計		3,526	3,299

カメラリポート



令和6年1月20日(土)

南久米地区自主防災訓練に、大洲消防署本署が立会いました。消火訓練や応急手当、ロープワーク、火災想定の子煙体験等に31人が参加しました。写真は、いざという時に役立つロープワークを行っている様子です。



令和6年1月9日(火)

消防本部警防課は、昨年11月の大洲市戒川林野火災の事後検討会を、愛媛県、大洲市、内子町、県下各消防本部等合計109人の参加により開催しました。二宮隆久大洲市長のあいさつで始まり、活発な意見交換をして今後に備えました。



令和5年12月10日(日)

豊茂地区自主防災訓練に、大洲消防署長浜支署が立会いました。旧豊茂小学校で行った初期消火訓練に参加された32人は、真剣に訓練をしました。大きな地震など災害のときには、この訓練が役に立つと思います。



令和5年11月21日(火)22日(水)

消防本部予防課は、毎年恒例の火災調査研修を開催しました。参加した若い消防職員31人は、講師の増田副主幹の丁寧で分かりやすい話を聞きました。火災調査の基礎を学んだ消防職員は、火災調査技術が向上しました。



令和5年11月13日(月)

天神小学校の3年生35人が、内子消防署を見学しました。青木係長の案内で消防署内を見学したり、消防車や救急車の説明を聞きました。3年生は落ち着いて周りをよく見て、話をよく聞いて熱心にメモをしていました。



令和5年11月13日(月)

小田小学校少年消防クラブは、道の駅小田の郷せせらぎで火災予防を呼びかけました。内子消防署小田出張所の職員も一緒に、クラブ員手作りのメッセージ入りのしおりや折り紙を、道の駅のお客様や店員の方に手渡しました。



救急病院案内 (0893) 24-7000

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	昼間 加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	夜間 喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

※ 当直病院の交替(水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。病院受診の際には、当直病院へお問合せください。

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	「内科」 初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時~午後10時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後7時~午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

発行編集 大洲地区広域消防事務組合
〒795-0012 大洲市大洲1034番地の4

代表	24-0119	大洲消防署本署	24-0119
総務課	24-2666	同上 長浜支署	52-0119
予防課	24-2667	同上 川上支署	34-2851
警防課	24-2668	内子消防署本署	43-0119
		同上 小田出張所	0892-52-3292
		ホームページ	http://ozu119.jp/